

<u>化学物質安全性データ - シート(MSDS)</u>

1 化学物質等及び会社情報

1- 製品名

商品名:エアセルマット

1- 会社情報

会社:株式会社和泉

 本社所在地
 : 〒 462-0847
 愛味名古屋市北区金城 4丁目 2番 5号

 担当部門
 : I S O推進室
 愛味名古屋市北区金城 4丁目 2番 5号

電播号: 052- 912-1133 FAX番号: 052- 911-3900

整理等 作成: 2004年 11月 15日

改定: 2009年10月1日 改定: 2010年10月27日

2 危険有害性の要約

G-S分類

物理化学的危険性	火薬類	分類像外
	可燃性・引火性ガス	分類像外
	可燃性・引火性エアゾール	分類像外
	支燃性・酸火性ガス	分類像外
	高圧ガス	分類像外
	引火性液体	分類像外
	可燃性固体	区分 2
	自己反応性化学品	タイプF
	自然発火性液体	分類像外
	自然発火性固体	分類像外
	自己発熱性化学品	分類像外
	水反応可燃性化学品	分類像外
	酸化性液体	分類像外
	酸化性固体	分類像外
	有機過酸化物	分類像外
	金属腐食性物質	分類像外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分 5
	急性毒性(経皮)	分類像外

株式会社 和泉

急性毒性(吸入:ガス) 分類物外 急性毒性(吸入:蒸気) 分類像外 急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト) 分類・像外 分類像外 皮膚腐食性・刺激性 分類像外 眼に対する重篤な損傷・目刺激性 呼吸器感作性 分類像外 皮膚感作性 分類像外 生殖細胞変異原性 分類像外 分類像外 発がん性 生殖毒性 分類的像外 特定標が臓器・全身毒性(単回ばく露) 分類が像外 特定標期臓器・全身毒性(反復ばく露) 分類が象外 吸引性吸器有害性 区分 2

環境に対する有害性 水生環境急性有害性 分類対象外 水生環境慢性有害性 分類対象外

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意好語: 警告

危険有害性情報: 飲み込むと有害のおそれ(経口)

飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ

注意書: 【安全対策】

熱火花裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。

この製品を使用する時に、喫煙をしないこと。

【応急処置】

火災の場合には適切な消火方法をとること。

吸引した場合:ただちに体を毛布等で包んで安静にさせ、 新鮮な空気の

所へ移し、医師の検診を受ける。

飲み込んだ場合:異常を感じるようであれば出来るだけはかせ、医師の

診断を受ける。

【保管】外装ポリ袋に入れ、屋内の常温常湿なところに保管すること。

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品

化学名 : ポリエチレン

化学式 : (- OH - OH-)n

官報公示整理番号 : (6)-1 (化審法・安衛去)

CAS番号 : 9002-88-4

株式会社 和泉

2/4

6時有害成分の有無 : Rd+S指令 6物質 カドミウム、鉛、水銀、六価クロム、PBB PBDE)

なし

RRIR 法にて届出が必要な物質の使用 なし

平成 21年 10月 1日施行「特定化学物質の環境への排出量の 把握等及び管理の改善の促進に関する法律施行令の一部を改正 する法令 以下改正法令という)」を見直したが対象物質は

ありませんでした。

4 応急措置

目に入った場合 : 水で洗浄する。異物感が残る場合は、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 必要に応じ水で洗う。

溶物が付着した場合には、素早く大量の水をかけ冷却し通常

の火傷司様の処置をする。

吸引した場合: 固形物であり該当しない。

但し、高温の溶解物から発生するガスを大量に吸入した場合はただちに体を毛布等で包んで安静にさせ、新鮮な空気の所へ移

し、ただちに医師の検診を受ける。

飲み込んだ場合 : 生理学的に不活性であるが、異常を感じるようであれば出来る

だけはかせ、医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

消火方法 : 通常の個体可燃物と同様、大量の水、消火剤を使用し、消火

する。尚、火災時、熱分解、不完全燃焼により黒煙、一酸化炭素等を発生する恐れがあるので、防毒 マスクを着用して消火にあ

たる。

消火剤 : 大量の水、泡削火剤、粉末消火剤。

6 漏出時の措置 : 掃き集め回収する

排水系などの水面に漏出した場合、鳥類、魚類等への悪影響もあ

るので全て回収する。

7 取扱 吸び保管上の注意

取扱い: 固形であり常温では以、爆発の恐れはないが、多くの有

機化合物と同様所定の条件で燃焼するので、作業所ではみだ

りに火気を使用しない。

加工・成形作業時、臭気や粉塵が発生する可能性があるの

で、必要に応じて局所制気装置をつける。

溶物が皮膚に触れると火傷を起こす場合があるので、保

護手袋等の保護具を使用する。

重量物を包装して長時間保管すると、緩動機能が低下する

場合があるので避ける。

株式会社 和泉

3/4

包装物に転到 落下などの衝撃を加え、又は引きずる等の 乱暴な扱いをすると、マットが破損するおそれがあるので 注意する。

保管 : 変質、異物混入防止のため 直射日光、高温、低温、

高湿屋外保管は避ける。

屋内の場合、白熱灯、水銀灯などの高温や乳 紫外線を出

す照明の近くの保管はさける。

荷崩れ・破袋防止のため、積み過ぎは避ける。 熱、火災、火気及び静電気蓄積を避ける。 尚、消防法の指定可燃物に該当する。

8 暴露防止及び保護措置

管理農度許容農度説定されていない。

設備対策 : 加工、成形作業時、揮発分や臭気が発生するおそれがあるので、

必要に応じて局所排気設備をつける。

保護具: 必要に応じて着用する。

9 物理的及び化学的性質

外観等 : 気泡状突出部が千鳥に配列された透明もしくは半透明シート。

 融点
 : 112 ~ 115

 密度
 : 0.88~ 0.95(原料)

溶解度 : 水に不溶

10 安全性及び反応性

 引火点
 : 200 以上

 発火点
 : 350 以上

可燃性 : あり(消防封に可燃物)

自然発火点: なし酸化性: なし自己反応性、爆発性: なし粉じん爆発性: なし

安定性、反応性: 一般的な貯蔵、取り扱いにおいて安定である。

11 有害性情報

皮膚腐食性: なし刺腺性: なし

急性毒性: 特に知見なし ポリエチレン原料について)

慢性毒性 : データなし

癌原性 : IAROのグループ 3人に対する発癌性は評価できない)

4/4

生殖制性: データなし生殖制性: データなし催奇形性: データなし

12 環競響翻

データはないが、魚類、鳥類等が摂取することを防止する為、いかなる海羊や水域でも投棄、・放出してはならない。

13 廃棄上の注意

一般的な廃棄物は、焼いまたは埋め立てによって処理する。処理にあたっては、「環境基本法」および「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って処理する。細部については、各地方自治体で定められた条例に従って処理する。

14 輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意のほか、可燃物の一般が注意により梱包袋が破れないよう水濡れや乱暴な取り扱いを避ける。

15 適用法令

消防法 : 指定可燃物 (合成樹脂類) (3000kg以上) 食品衛生法 : 器具、容器包装の規格: 厚生省告示第 370号

RTIR法の該当物質

平成 21年 10月 1日施行「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の催促に関する法律施行令の一部を改正する政令(以下改正政令という)」を見直したが対象物質はありませんでした。

16 その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。又、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。



検査報告書

報告書 JP/2013/071253

日付:2013年8月7日

1 頁全 3 頁

株式会社和泉

愛知県名古屋市北区金城4-2-5

THE FOLLOWING SAMPLE(S) WAS/WERE SUBMITTED AND IDENTIFIED BY/ON BEHALF OF THE CLIENT AS: 以下のサンプルは顧客により提供され、顧客に代わって確認を行いました:

サンプル名 : エアセルマット(株式会社和泉)

御社オーダーNo.

サンプル受領日 2013/07/26

分析期間 2013/07/26 - 2013/08/06

TEST REQUESTED

: SELECTED TEST(S) AS REQUESTED BY CLIENT.

分析項目

分析項目は顧客の要求によります。

TEST METHOD(S) 分析方法

: WITH REFERENCE TO IEC62321 EDITION 1.0 2008-12 FOR RoHS 6 SUBSTANCES.

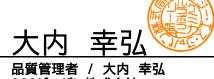
OTHER CHEMICALS WERE TESTED BY EACH APPROPRIATE METHOD. RoHS6物質の分析はIEC62321第1.0版(2008年12月)を参照しました。

それ以外の化学物質についてはそれぞれに最適な方法で分析を行いました。

TEST RESULT(S)

: PLEASE REFER TO THE NEXT PAGE(S).

以下のページをご参照願います。 分析結果



SGSジャパン株式会社 ケミカルラボラトリー



検査報告書

報告書 JP/2013/071253

日付:2013年8月7日

2 頁 全 3 頁

株式会社和泉

愛知県名古屋市北区金城4-2-5

分析結果

項目	単位	結果	前処理	機器/場所	MDL
カドミウム(Cd)	mg/kg	検出せず	IEC62321 第1版 8,9,10章	ICP-OES	2
鉛(Pb)	mg/kg	検出せず	IEC62321 第1版 8,9,10章	ICP-OES	2
水銀(Hg)	mg/kg	検出せず	IEC62321 第1版 7章	ICP-OES	2
クロム(Cr)	mg/kg	検出せず	EPA3052	ICP-OES	2
六価クロム(Cr(VI))	mg/kg	検出せず	IEC62321 第1版 付属文書C	UV/VIS	2
ポリプロモビフェニル(PBBs) モノブロモビフェニル ジブロモビフェニル トリブロモビフェニル テトラブロモビフェニル ペンタブロモビフェニル ヘキサブロモビフェニル ヘプタブロモビフェニル オクタブロモビフェニル ノナブロモビフェニル デカブロモビフェニル	mg/kg mg/kg mg/kg mg/kg mg/kg mg/kg mg/kg mg/kg mg/kg	検検検検検検検検検検検検は出出出出出出出出出出出出出出まままままままままままま	IEC62321 第1版 付属文書A	GC/MS	5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5
ボリプロモジフェニル エーテル(PBDEs) モノブロモジフェニル エーテル ジブロモジフェニル エーテル トリプロモジフェニル エーテル テトラブロモジフェニル エーテル ペンタブロモジフェニル エーテル ヘキサブロモジフェニル エーテル オクタブロモジフェニル エーテル オクタブロモジフェニル エーテル ノナブロモジフェニル エーテル	mg/kg mg/kg mg/kg mg/kg mg/kg mg/kg mg/kg mg/kg mg/kg	検検検検検検検検検検検検検検技性せせせせせせせせせせせせけせけせけせけせけせけせけせけがずずずずずずずずずずず	IEC62321 第1版 付属文書A	GC/MS	5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5

補足: mg/kg = ppm, MDL(Method Detection Limit) = 方法下限值



検査報告書

報告書 JP/2013/071253

日付:2013年8月7日

3 頁全 3 頁

株式会社和泉

愛知県名古屋市北区金城4-2-5

分析フローチャート MEASUREMENT FLOW CHART

1)酸分解前処理において試料を完全分解しています。

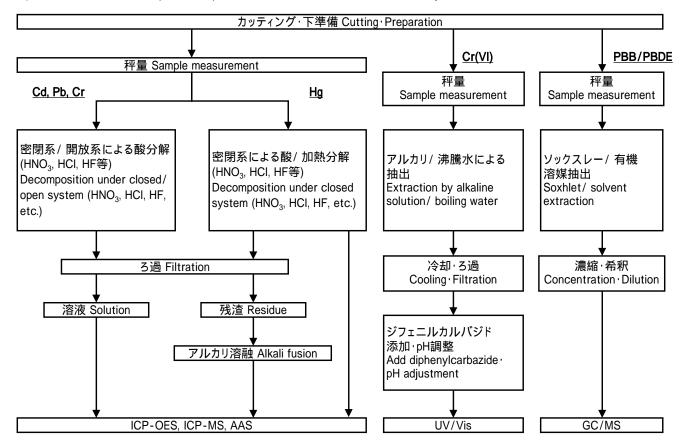
The sample was dissolved/ decomposed totally by acid pre-conditioning method according to below flow chart.

2)Cd, Pb, Hg, Cr, Cr(VI)

分析担当者 Name of the person in charge of measurement: 野田 晴美 Harumi Noda 3)PBB/PBDE

分析担当者 Name of the person in charge of measurement: 大谷 真由美 Mayumi Otani

4)分析責任者 Name of the person responsible for measurement: 大谷 真由美 Mayumi Otani



*** 以上 ***



TEST REPORT

REPORT NO. JP/2013/071253

DATE: August 7,2013

PAGE: 1 OF 3

IZUMI CORPORATION

4-2-5 KINJOU KITA-KU NAGOYA-SHI AICHI JAPAN

THE FOLLOWING SAMPLE(S) WAS/WERE SUBMITTED AND IDENTIFIED BY/ON BEHALF OF THE CLIENT AS: 以下のサンプルは顧客により提供され、顧客に代わって確認を行いました:

SAMPLE DESCRIPTION: Air-Cell Mat(IZUMI CORPORATION)

CLIENT REF.NO

SAMPLE RECEIVED 2013/07/26

TESTING DATE 2013/07/26 TO 2013/08/06

TEST REQUESTED

分析項目

: SELECTED TEST(S) AS REQUESTED BY CLIENT.

PLEASE REFER TO THE NEXT PAGE(S).

分析項目は顧客の要求によります。

TEST METHOD(S) 分析方法

: WITH REFERENCE TO IEC62321 EDITION 1.0 2008-12 FOR RoHS 6 SUBSTANCES.

OTHER CHEMICALS WERE TESTED BY EACH APPROPRIATE METHOD. RoHS6物質の分析はIEC62321第1.0版(2008年12月)を参照しました。

それ以外の化学物質についてはそれぞれに最適な方法で分析を行いました。

TEST RESULT(S)

以下のページをご参照願います。 分析結果

Yukihiro Ouchi / Quality Manager SGS Japan Inc., Chemical Laboratory



TEST REPORT

REPORT NO. JP/2013/071253

DATE: August 7,2013

PAGE: 2 OF 3

IZUMI CORPORATION

4-2-5 KINJOU KITA-KU NAGOYA-SHI AICHI JAPAN

TEST RESULT(S)

ITEM(S)	UNIT	RESULT	METHOD	INST./PLACE	MDL
CADMIUM(Cd)	mg/kg	N.D.	IEC62321 ED.1 SECTION 8,9,10	ICP-OES	2
LEAD(Pb)	mg/kg	N.D.	IEC62321 ED.1 SECTION 8,9,10	ICP-OES	2
MERCURY(Hg)	mg/kg	N.D.	IEC62321 ED.1 SECTION 7	ICP-OES	2
CHROMIUM(Cr)	mg/kg	N.D.	EPA3052	ICP-OES	2
CHROMIUM VI(Cr(VI))	mg/kg	N.D.	IEC62321 ED.1 ANNEX C	UV/VIS	2
Polybrominated biphenyls(PBBs)					
Monobromobiphenyl	mg/kg	N.D.			5
Dibromobiphenyl	mg/kg	N.D.			5
Tribromobiphenyl	mg/kg	N.D.			5
Tetrabromobiphenyl	mg/kg	N.D.			5
Pentabromobiphenyl	mg/kg	N.D.	IEC62321 ED.1 ANNEX A	GC/MS	5
Hexabromobiphenyl	mg/kg	N.D.	IEG02321 ED.1 ANNEX A	GC/IVIS	5
Heptabromobiphenyl	mg/kg	N.D.			5
Octabromobiphenyl	mg/kg	N.D.			5
Nonabromobiphenyl	mg/kg	N.D.			5
Decabromobiphenyl	mg/kg	N.D.			5
Polybrominated diphenyl ethers(PBDEs)					
Monobromodiphenyl ether	mg/kg	N.D.			5
Dibromodiphenyl ether	mg/kg	N.D.			5
Tribromodiphenyl ether	mg/kg	N.D.			5
Tetrabromodiphenyl ether	mg/kg	N.D.			5
Pentabromodiphenyl ether	mg/kg	N.D.	IEC62321 ED.1 ANNEX A	GC/MS	5
Hexabromodiphenyl ether	mg/kg	N.D.	ILOUZUZI LD.I ANNEA A	GC/W3	5
Heptabromodiphenyl ether	mg/kg	N.D.			5
Octabromodiphenyl ether	mg/kg	N.D.			5
Nonabromodiphenyl ether	mg/kg	N.D.			5
Decabromodiphenyl ether	mg/kg	N.D.	DI Mathad Data stian Limit		5

NOTES: mg/kg = ppm, N.D. = Not Detected, INST. = INSTRUMENT, MDL = Method Detection Limit



TEST REPORT

REPORT NO. JP/2013/071253

DATE: August 7,2013

PAGE: 3 OF 3

IZUMI CORPORATION

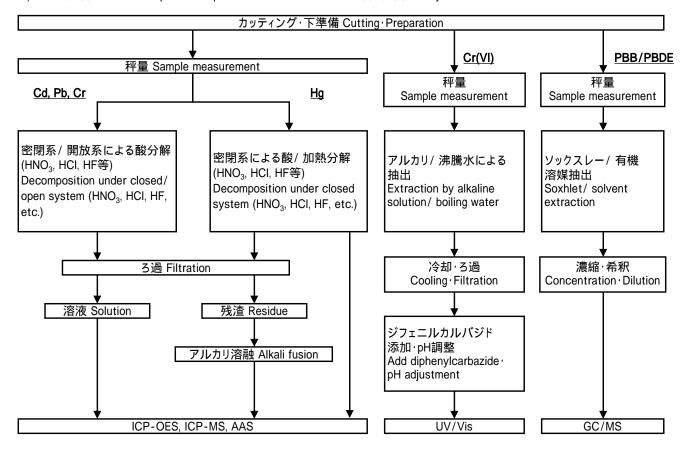
4-2-5 KINJOU KITA-KU NAGOYA-SHI AICHI JAPAN

分析フローチャート MEASUREMENT FLOW CHART

1)酸分解前処理において試料を完全分解しています。

The sample was dissolved/ decomposed totally by acid pre-conditioning method according to below flow chart. 2)Cd, Pb, Hg, Cr, Cr(VI)

- 分析担当者 Name of the person in charge of measurement: 野田 晴美 Harumi Noda 3)PBB/PBDE
- 分析担当者 Name of the person in charge of measurement: 大谷 真由美 Mayumi Otani
- 4)分析責任者 Name of the person responsible for measurement: 大谷 真由美 Mayumi Otani



<END>